

水道施設探索システム（仮称）について

【システム概要】

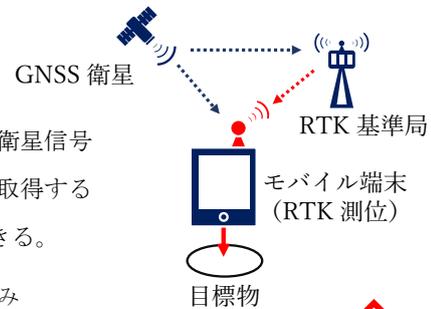
- ① 『高精度位置測位技術（RTK方式^{※1}）』を用いて、目標物の詳細な位置情報（座標値）を取得。

※1 RTK方式

RTK（リアルタイム・キネマティック）技術は、GNSS衛星信号とあわせて、地上にあるRTK基準局から位置情報データを取得することで、誤差数センチメートルの高精度な位置測定を実現できる。

RTK：地上に設置された基準局から位置情報データを取得する仕組み

GNSS：衛星を利用した測位システム（自動車のナビゲーションなど）



連携

- ② 水道局で運用している「水道管路情報即時共有システム^{※2}」に施設の正確な位置情報（座標値）を登録。



（データ閲覧可能なモバイル端末）



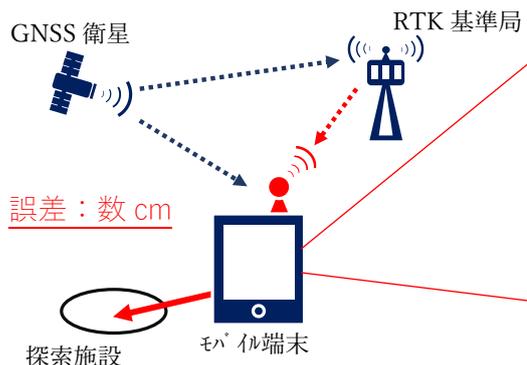
（現場で確認できる配管イメージ）

※2 管路情報即時共有システム

現場に持ち出したモバイル端末で庁舎外でも、全ての水道管路情報や配管竣工図・給水台帳などのデータの閲覧が可能なシステム。（令和2年度から運用開始）

現場状況をシステム上に登録することで、その他の全ての端末でも同じ情報を即時に共有できる。

- ③ これらの位置情報を基に、探索対象施設までセンチメートル単位で迅速かつ確実なナビゲーションを行う。



（ナビゲーションイメージ）